

かみくげ恐竜の里新聞

令和3年6月15日

発行…上久下恐竜の里づくり部会

第133号

上久下地域
自治協議会
0795 78 0001

令和3年度自治協議会総会を開催

上久下地域自治協議会(野垣克己会長)は、4月25日に地域づくりセンターで令和3年度の総会を開催しました。来賓の招待は無く、3密を避けるため座席の間隔を広め換気にも注意しながら、短時間で終了するよう心掛けて実施しました。自治会や各団体代表者ら協議会委員25名が参加。2年度の事業報告と決算報告、3年度事業計画案及び予算案について提案し、議案通り可決しました。また自治協議会役員の変更についても議案通り可決しました。

◆2年度事業報告(抜粋)

☆昨年度は上久下で世界的な出来事が二つもあつた。一つは、地元主催の発掘調査で見つかった恐竜卵化石に「ヒメウリサス・ムラカミ」
と学名がついて、世界最小のギネス記録になったこと。もう一つは、地域産業である檜皮葺などの「伝統建築工匠の技」が、ユネスコ無形文化遺産に登録されたこと。

恐竜化石などに関する話題発信を絶やさな
いよう、地元主催の化石発掘調査を継続して

おり、上久下小6年生の卒業記念として、発掘現場での丹波竜、イントも継続している。

檜皮葺きに関しては、慧日寺と旧友井家住宅を会場にして2回の勉強会を実施。檜皮採取や檜皮葺きの実演を見学してもらい、地域の人たちを中心に関心を高めてもらった。「檜皮の里かみくげガイドマップ」を作成して、上久下全戸と丹波市内小学校児童全員に配布した。ユネスコ無形文化遺産登録の記念式典を、旧友井家住宅で実施した。

☆マスクが手に入らない時期に、各家庭にマスクを10枚ずつ配布した。多目的研修室の網戸交換や、非接触型体温計・消毒用アルコールなどを配備して、新型コロナウイルスの感染防止対策を重点課題として取り組んだ。

☆かみくげ宿の「一発花火」実行を支援して、自粛疲れの癒しの機会となった。

☆新型コロナウイルス感染防止のために中止した事業は、川代さくらまつり、納涼ビアガーデン、令和かみくげ塾、水泳教室、野外コンサート、地区球技大会、地区体育大会、文化祭、バナソニックエコレーシングなどの協働クリーン作業等々。地域住民の親睦の場が数多く失われた。



事業報告はスライドで説明

◆3年度事業計画(抜粋)

☆自治意識の高揚に関する取組みとして、檜皮葺きのPR活動の拡充や、「かみくげ宿」の活動支援を行う。

☆教育に関することは、大空学級の開催支援や、学校運営協議会の参加、地区文化祭の開催など。

☆恐竜の里づくりに関する取組みは、地元主催の化石発掘調査や、野外コンサートの開催、丹波竜フェスタの共催など。

☆健康福祉に関するものでは、球技大会と地区体育大会の開催や、ボランティアグループの友愛弁当宅配などを利用した独居高齢者見守り活動への支援など。

☆環境に関する取組みとして、バナソニックエコレーシングなどの協働クリーン作業実施や、地域づくりセンターの定期的な清掃、草刈り、剪定作業など。

以上のような計画ですが、4月の川代さくら



クールタオルを持って全員集合

一年生にクールタオル贈呈

まつりを中止したように、感染防止の為に実施できない事業がこれからも発生する可能性があります。今年の総会は、初めての試みで事業報告などをスライドで映し出しました。参加者からは「議案書を見ながらよりも、映像を見ている方が分かり易かった」と好評でした。

上久下地域自治協議会は6月1日、上久下小学校(八尾滋樹校長)の一年生10人にクールタオルをプレゼントしました。昨年度は休校の影響で夏休み期間が短縮され猛暑の中の通学となつたため、熱中症対策として全校児童にクールタオルをプレゼントしていました。今年の新入生にも必要と判断して、暑さが厳しくなる前に渡すことにしました。一年生は声を揃えて「ありがとうございます」と、感謝の気持ちを伝えてくれました。

元気村かみくげ総会開催

企業組合元気村かみくげ村上正昭代表理事は、5月29日に地域づくりセンターで第11期の総会を開催しました。今年の総会は委任状提出が多く、参加者は理事を含めて15人で3密の心配も無く開催できました。村上正昭代表理事の挨拶の後、柳川瀬義輝氏が議長になり、第10期の事業報告と決算報告を可決承認。続いて第11期の事業計画案と収支予算案を可決承認しました。

◆第10期の事業並びに決算報告(抜粋)

☆緊急事態宣言が発出されて4・5月の約2ヶ月間休業した影響で、大きく売上が減少した。再開後の化石発掘体験は、密を避けるため一度に体験できる人数を制限して実施したため、最後までリカバリーできなかった。食堂でも客が混雑を避けるようになり、同様に売上の回復ができなかった。逆にアイスクリームやグッズ販売は前年よりも増加した。

☆10年間で初めての減収となったが、国の持続化給付金制度を利用できたおかげで最終的には黒字決算となった。

☆地域貢献として、小学校の遊具建設費の一部補助や、卒業生の記念品贈呈を行なった。

☆元気村かみくげ周辺から発電所に至るまでの草刈り清掃など、環境美化に努めた。

◆第11期の事業計画(抜粋)

☆今年度もスタートから緊急事態宣言が発出され、4月下旬から5月中旬まで休業となりました。現時点では営業を再開していますが、来訪者は昨年より減少傾向にあります。元気村に従事する人たちは、感染防止に神経を擦り減らしながら接客している状況です。

☆化石発掘体験や食堂の売上目標は、昨年度より減少する見込みです。厳しい時期が続くと予想しますが、新型コロナウイルスが収束するまで何とか耐えていきたいと思っています。



村上正昭代表理事の挨拶

ワクチン接種Web予約お助け

6月1日から始まる65歳以上のワクチン接種予約に対して、丹波市が各校区の地域づくりセンターでWebによる予約のサポートを実施しました。上久下地域づくりセンターでは3人の市職員が待機して、6月2日に8人分

4日に4人分、7日に1人分の予約のお助けをしてもらいました。電話を掛けても中々繋がらない状況で、無事に予約を済ませた人達は安心した表情を浮かべていました。



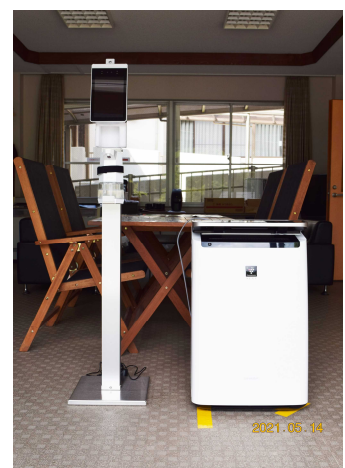
ワクチン接種の予約に訪れた人たち

避難所運営備品を整備

上久下地域づくりセンターが災害時の避難所に指定されているため、一昨年度から避難所の運営に必要な備品を整備しています。市の防災資機材整備事業補助金を活用して、今年度は自動検温機(アルコール噴霧器付き)と、空気清浄機を購入しました。避難所開設の際には、ウイルスの感染防止に大きな役割を果たす予定です。センターを利用する人にも普段から慣れてもらおうと、自動検温機は玄関ホールに設置しています。空気清浄機も会議室などに使用して、折角の機材を有効活用していきたいと思っています。

7月の予定

- ◆7月4日(日) 地域づくりセンター 選定・草刈り 午前8時から
- ◆7月9日(金) 恐竜の里づくり部会 午後7時30分から
- ◆7月15日(木) 自治会長会 午後7時30分から
- ◆7月17日(土) 地域づくりセンター 清掃(上滝) 午前9時から
- ◆7月18日(日) 兵庫県知事選挙 投票日 午前7時から午後8時まで
- ◆7月13日・27日(火) 恐竜時計台のカフェ 午前10時から



左が自動検温機、右が空気清浄機